

# 令和元(2019)年度函館市公共下水道事業報告書

## 1 概 況

### (1) 総括事項

令和元年度の処理区域内人口は229,683人となり、前年度に比べ2,797人減少したが、下水道普及率(行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合)は90.7%となり、前年度に比べ0.2ポイント増加した。

また、水洗化区域内戸数は136,288戸、水洗化済戸数は130,761戸となり、水洗化区域内戸数に対する水洗化済戸数の割合は95.9%となった。

事業収益については、国庫補助金や長期前受金戻入の増加等により、前年度に比べ50,591,092円の収入増(0.7%増)となり、総額で7,543,531,878円となった。

事業費用については、減価償却費や企業債利息の減少等により、前年度に比べ48,788,693円の支出減(0.7%減)となり、総額で6,579,184,628円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ99,379,785円増加し、964,347,250円の純利益を生じた。

建設改良事業については、下水管渠工事、大手ポンプ場電気計装設備工事、南部下水終末処理場汚水処理施設自家発電設備工事等を予定どおり施行した。

また、函館湾流域下水道事業費負担金で、54,999,000円が建設改良費の繰越額となっている。

なお、令和元年10月1日からの消費税率改定に伴う下水道使用料の改定を令和元年12月以後の月分として徴収する使用料から実施した。